

東大物性研究所 液化室だより

ex 5904

1. 高圧ガス保安教育のお知らせ

— 新入職員・院生対象 —

平成7年度の高圧ガス保安教育の講習を実施します。この講習は高圧ガスによる災害を未然に防ぎ、安全な職場、研究所をめざすために毎年行っているものであり、これから物性研で液体窒素や液体ヘリウム、ポンプ等を使う予定のある方は全て対象となります。特に今年物性研に入られた教職員・院生の方、昨年の講習会以降に物性研に入られた方、また、すでに他所で高圧ガスについて取り扱った経験がある方でも物性研での様々な取り決めや、順守していただきたい事項がありますので必ず出席して下さいをお願いします。

高圧ガス保安教育（新人対象）実施要綱

- | | |
|-----|--|
| 日・時 | 5月10日（水）
午後1時30分～3時（予定） |
| 場所 | B棟低温液化室1F |
| 内容 | 1. 低温委員長挨拶
2. 高圧ガス取締法について
3. 高圧ガスの取り扱い
（ポンプ、寒剤、ヘリウムガスの回収、ストレージ等について）
4. 液化室を利用する場合の手続き、注意等 |

なお、研究室で対象となる方がおりましたら確実に出席できるよう、関係各位の全面的なご協力をお願いします。

2. ヘリウム回収配管漏洩テストと研究室立入についての報告

4月4日から行ったヘリウム回収配管の漏洩テストの結果と、研究室に立入した際に受けた感想、および今後の対策等について報告します。

- ①回収配管漏洩テストの結果は再検査を要するほど問題となるような箇所はなかった。
- ②研究室では逆止弁や流量計をつけ、配管をきれいに整理しているところがあれば、いわゆる“タコ足配管”になっていたり、ゴムや塩ビ等の配管が床をのたうち回っていたり、劣化したゴム配管等を使用しているところもあった。このようなところは早急に改善する必要がある。
- ③研究室に立ち入ったときトランスファしているところがなく、実際を見ることができなかったが、今後は適宜研究室に出向いてトランスファの実際を見ることにしたい。
- ④液化室内で主配管毎（A₁ー中央階段より門衛所側、A₂ー中央階段よりヘリ基地側、5・6階、L棟、C棟）にガスの流量等が管理できるよう、検討を進める。
- ⑤回収元バルブのゴム製シールパッキンを順次交換していく。
- ⑥使用していない回収元バルブは蓋をする。

今、使用している回収配管は設置してから長い年月が経ち（特にA棟は35年間以上）、かなり古くなっており、また、研究室内の配置替えや、液体ヘリウムを使用しない研究室が移るたびに室内にある回収元バルブを切断するため、配管の機密性に不安が出るようになりました。しかし、新しい回収配管を設置するには莫大な予算を必要とします。そのため、今の配管をなるべく長く使っていきたいと思いますので、今後はどうしても撤去せざるを得ない、という以外は元バルブは切断しないようにお願いします。

テストへのご協力、ありがとうございました。